

平成 26 年度 政令指定都市立図書館統計比較評価

1. 人口 1000 人当たりの偏差値評価

<インプット指標>

- 中央図書館延床面積は、偏差値 46 で下回っている。
- 従業職員数は、偏差値 49 で下回っている。
- 資料費は、偏差値 47 で下回っている。
- 昨年度同様に中央図書館の延床面積及び職員と資料費の面が、相対的に低い状態にあり、中央図書館の施設面、従業員数に対応した業務の効率化、予算的な面が課題である。

<アウトプット指標>

- 来館者数は、偏差値は 52 で上回っている。
- 年間貸出点数は、偏差値 56 で上回っている。
- 団体貸出数は、偏差値 54 で上回っている。
- レファレンス受付件数は、偏差値 59 でかなり上回っている。
- 全体として、サービス面の充実により、相対的に平均以上の高い評価である。

2. 総合評価

インプット指標については、昨年度とほぼ同じである。

アウトプット指標は、若干、年間貸出点数とレファレンス受付件数が下がっているが、偏差値としては高い状態にある。

課題としては、昨年度と同様に、資料費が相対的に低く、長期的に今後の資料の蓄積を考えた場合、政令市平均を上回るように努めたい。